

マーケットの動き（2022年8月29日～9月2日）

先週の為替市場は前週末比、米ドルは対円で上昇（円安）しました。

FRB（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締めが長期化すると観測が改めて強まり、ドル高が継続するとの見方から、米ドル円相場は上昇基調で推移しました。週末に発表された8月の米国雇用統計は市場予想をやや上回ったものの、失業率が予想外に悪化したほか平均時給の伸び率が鈍化したことを受け、円がやや買い戻されて週を終えました。

ユーロは、対円・対米ドルともに上昇しました。

投資環境見通し（2022年9月）

円に対して、米ドルは強含み、ユーロは横ばい

米ドル：日銀とFRB（米国連邦準備制度理事会）との金融政策の違いに加え、米国景気の相対的な底堅さ、エネルギー価格が上昇する中で米国の燃料輸出国の優位性が注目されるとみられます。ドルは円に対して小幅ながら強含むとみています。

ユーロ：日銀とECB（欧州中央銀行）との金融政策の違いがユーロの上昇要因となる一方、欧州景気の先行きに対する懸念が重しになるとみられます。ユーロは円に対して横ばいで推移するとみています。

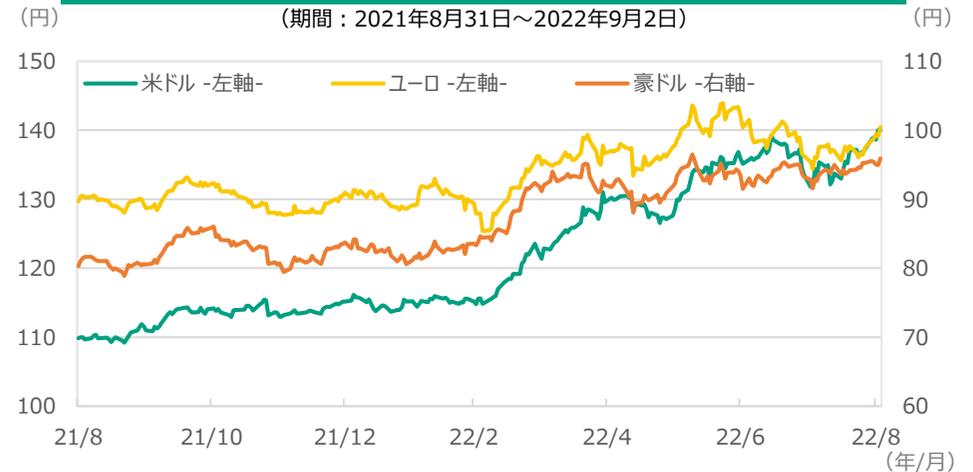
	9月2日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	140.04	2.76	8.28	24.46	30.06
ユーロ/円	140.42	2.92	6.04	12.50	9.91

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202209_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>